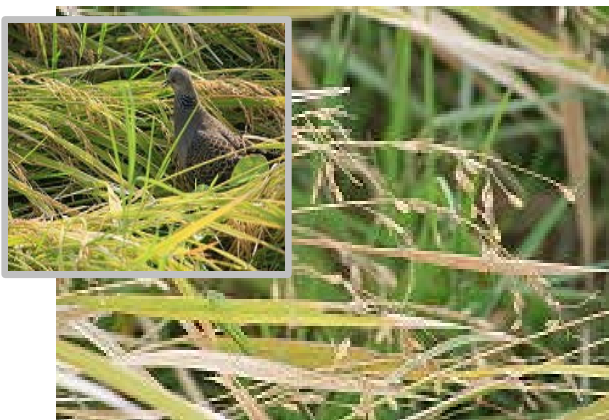




→いつ、だれが植えたのか、10日遅れで矢切の渡しの栈橋に、白い彼岸花が咲いた。真っ赤な彼岸花もいいが、矢切の渡しには白い彼岸花が似合う。



↑天候の関係で刈り遅れていた田んぼの稲は、一週間ほどで鳥たちに食い尽くされた。農家では稲刈りをあきらめた。(先週の写真参考)

四人のご婦人がベンチに腰かけて話し込んでいた。別に聞くつもりではなかったが、風に乗って聞こえてきた。

「もうどうなってるのよ、この天候」

「猛暑が続いたと思ったら雨続き」

「野菜の高いこと」

「キャベツが半分、レタスも半分、ほうれん草や小松菜なんか、いつもの年より束が小さくなっちゃった」

「そうよオ、デフレ、デフレっていうけど、なにがデフレなの。食料品にかぎっていうとインフレだよ」

「野菜に呼応するかのように肉だって魚だって高いしね」

「牛肉や豚肉が高いのはわかるわ、宮崎では牛や豚が処分されたんだから。需要供給の関係でいうと当然、高くなる。でも、どうして鶏肉まで高いの」

「グラムあたり豚肉より高い。それもやたらブランド肉。地鶏のデパート。あらやだ私、まるで国会議員みたい」

さすが主婦。しやれまで出た。

「うちなんか育ち盛りの孫がいるから儉約するにも限度があるわよ……」

「そうよ、タンパク質不足で成長が悪

今週のクマ

→久しぶりに舟に乗ったクマは、じっと水面を見つめていた。思わずイソップ物語の『欲張り犬』の話を手想してしまった。それだけ、この日曜日は穏やかな一日だったということだ。



↑矢切の台地から江戸川縁に下りる途中の坂道に、だれが植えたのか彼岸花が咲くようになった。同時に、花盗人も出没するようになった。世に盗人の……

「魚も食わせないとカルシウム不足になるし、ミネラルだって必要だし」

「ビタミンだって摂らないと……」

話は尽きない。

だが、どこかに違和感がある。

日ごろ私はタンパク質が欲しいと思っ
たこともないし、脂質や炭水化物が欲し
いと思っただけでもない。

喉が乾いたから水が飲みたいと思うよ
うに、ビタミンが欲しいと思っただけでも
ミネラルが欲しいと思っただけでもない。

男は無頓着だからそんなことを考えた
りしないのだろうか。

話は続く。

「一日に三十品目食べたほうが良いとい
うけど、肉に魚に野菜にと、三十種類も
の食材を買っていたら、いったいお金が
いくらあったらいいのよ」

「そうよ、おたくみたい三世代ならい
いけど、うちみたいに二人だとねえ」

聞くほどに頭が痛くなってきた。

ちなみに、タンパク質とは、Lアミノ
酸が多数連結してできた高分子化合物。

カルシウムにいたると元素番号20の元
素なのだそう。このごろの人は、化合
物や元素を食べて大きくなっている。